朝鮮日報

社説　戰時の經濟（其二）

開戰以來國民の異口同音に唱導する擧國一致なる語は乃ち事實に於ける軍隊の後援を期する爲めにして眠食を廢して軍士の送迎に走り衣巾を殺で恤兵を為さしむるの謂にあらず要は勤儉自ら持して大に公に奉せしむるにあるのみ

抑も交戰國が軍費を支ゆるの上に於て其多くを戰時稅ょ課するか若しくは國債募集に採るかは各其國の經濟事情の支配を受くべき問題にして固より同一歩調に出づべき要あらざるは論ずれば堪へ得可き限り戰時稅を課して累を子孫に貽さゞるを得策とするは一點の疑を容れず雖も現に交戰中なる我國の經濟事情は未だ充分に戰時稅を以て軍資を支へ得可らざるの狀態なるを以て勢ひ其の大部分を國債に露めて負担を子孫に分たざるを得ずされば政府が本年度に於て非常特別稅案を議會に提出し其の協賛を經て可及的戰時稅を賦課したるは尤も機宜に適したる措置ふして吾人の諒とする處なるも今日に明治三十七八年の國民が後繼者に委するに多大の軍資を以てするの止むを得ざるを嘆せずんばあらず

由來戰爭の終局に就ては未だ期する處を知らず對抗愈々永きに亙りて軍資支辨の責任倍々多きを加ふるに至ては三十七八年乃至戰期中に於ける國民が如何に名譽の戰勝を告ぐるあるも以て後世に誇るに足らざるべしされば直接戰鬪の事は是れを政府と軍隊に委し國民は只管產を殖し業を興すに勉め大に軍費を資すると共に富を子孫に分て光輝ある終局の勝利を奏せざるべからず擧國一致の要旨は實に茲に存するある而已

見よ我同盟國たる英國人が西曆千七百九十三年より千八百十五年に亘る二十三年間勃敵拿破翁と戰ふて克く其の目的を達したる事實に鑒みよ彼れは大に外に戰ふと共に內に大に殖產興業を勵み實に百四十七億七千六百六十二萬圓の巨額なる軍資を辨じて僅に四十五億九千六百六十萬圓の國債を子孫に負はしめたるに止まり他は悉く戰時稅に依て支辨したり彼等が決心の偉なる其戰功の大なる豈三嘆せざるなきを得んや

言ふみどを休めよ英國の富は我れと比較すべからず我は到底彼れに學び得可らずと斯の如きは畢竟自暴自棄の說にして所謂擧國一致を實にせざるの言のみ拿破翁戰亂の際に於ける英の國力は現に露國と交戰中なる今日の我國力に對し遙に下級にありたるは其の開戰の前年に於ける乃ち西曆千七百九十二年度に於ける經濟事情に徵して明瞭なり同年度に於ける彼國の歲入總額は僅に壹億九千万圓に過ぎずして貿易の總額も亦五億圓を超へず而して國內の人々は一千五百萬に充たず加ふるに海外貿易の杜絕せるありて尚此の大戰役に堪へ得たるのみならず大に國力を充實せしめて光輝ある最後の目的を達したりされば此國民が長期の戰亂に當り能く戰費を供給し且つ富を子孫に貽したるかを知らしむる材料として茲に戰役中に於ける年度及軍費分配の摸樣を表記して參考に供す

（備考左表中戰時稅及國債の單位は一萬圓なり合計に差異を生じたるは万位以下を切り捨てたる爲なり）

年度	戰時稅	國債
一七九三	[illegible]	[illegible]
一七九四	[illegible]	[illegible]
一七九五	[illegible]	[illegible]
一七九六	[illegible]	[illegible]
一七九七	[illegible]	[illegible]
一七九八	[illegible]	[illegible]
一七九九	[illegible]	[illegible]
一八〇〇	[illegible]	[illegible]
一八〇一	[illegible]	[illegible]
一八〇二	[illegible]	[illegible]
一八〇三	[illegible]	[illegible]
一八〇四	[illegible]	[illegible]
一八〇五	[illegible]	[illegible]
一八〇六	[illegible]	[illegible]
一八〇七	[illegible]	[illegible]
一八〇八	[illegible]	[illegible]
一八〇九	[illegible]	[illegible]
一八一〇	[illegible]	[illegible]
一八一一	[illegible]	[illegible]
一八一二	[illegible]	[illegible]
一八一三	[illegible]	[illegible]
一八一四	[illegible]	[illegible]
一八一五	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

前記の統計を一覽すれば英國民の克く戰亂の困難に堪へたると共に如何に殖產に努めたるを知るに足らん其の今日の強大を致す實に所由あるなり我國民稍もすれば自ら東洋の英國と稱し徒[illegible]模倣するを知らず英國民の度量と忍[illegible]を有するが戰爭に於ける一旦の勝利ょ[illegible]或は彼を凌ぐの功を奏せん然れども[illegible]を永遠に克復すべく國力を培養するの[illegible]於て換言すれば戰ひ且つ耕すの上に於[illegible]に彼れの背後に瞠若たる者あらざるが[illegible]倖げざるの強は所謂北方の強にして実[illegible]強なり遂に世界に雄飛すべからず國民[illegible]者大に考慮せざるべけんや（方外）

東京電報

●露帝の講和條件　確報としてロイアル電報の報ずる處に據れは露帝は左の條件の許す媾和せんとの意あるを信すべき節[illegible]て繰返されつゝあり韓國に於ける日本の主權[illegible]認は遼東の割讓浦鹽の解放東清[illegible]道中立經營滿州の還附等に[illegible]只賠償金問題に故障あるのみなりき

（廿三日午後九時發電）

通信

●滿州の商狀

我邦人の實業……

滿州の視察を了して[illegible]發せる某氏の實談を[illegible]聞くに戰爭と商業とは兩立すべからずレイルの光り輝く所到底サヤクコートの活躍を見る能はざるは蓋し戰の免る能はざる所にして現下戰線及び守備隊の駐屯せる地にある酒保れよ伏營口大連等にある各商店が最も憫むべき境遇に推し落されつゝあるべしとは何人も想像ょ浮ばざる所ならん剩へ下在滿州の本邦商店ょ實に一大危機に瀕せるなり余は恐る現在の此の頓挫は延いて平和克復の商業時代に迄も影響し今後幾年間店邦商勢挽回の時機ならん事を尤も本邦商杵にして漸く一大危機に瀕したるは夫れ自身の罪なるべく又た軍事上萬止むを得ざる理由在つて存するならんも而も滿州商業の現狀を實地に就て靜かに觀察する時は其間當局の措置に付ても亦ま憾焉たらざるもの尠少ならずせず猶滿州商業不振の現狀と在滿州日本商人等が軍隊と清商との間に板挾みとなりて殆んど溺死の狀態に在る事實を演述すべし、抑々大連遼陽間の鐵道が糧食及び軍需品輸送の爲め普通商品の輸送が殆んど排擯せられたるの一事は大連商況に一大痛擊を與へたると同時に目下戰地の商人に確かに以上の打擊を深からしめたるも營口が結氷期にある今日深く滿州內地にある各商人等は極めて少數なる物貨の供給を仰ぐの外其三分の二强は殆大連の商人より仰がざる可らざるに今や其間の輸送を嚴禁せられたる有樣なるに到りては日本商人等は全然內地よりの供給の途を杜絕せられたるの悲境に陷りたるなり於是乎滿州內地の日本商人等は斷ひ營口より之て總ての物資の供給を仰がざる可らざる事となれり而も營口は昨年十一月末以來ば結氷期に入りて自然力の爲めに其全能力をもぎ取られ百般の貨物は殆んど內地より供給せらるゝの途なく單に戰線其他に向け供給せらるゝ一方なるが故徒在なきだに不仕掛なる在營口日本商賈等は然ずにして物貨の欠乏を惹起し又幾分優勢なる商人等多少貨物を擁し居るも豫め此趨勢を知悉し解氷期前の物價暴騰を見越し手放しせざるゐ到れり於是乎營口に在る普通の貨物は騰貴一方となれり然れども酒保等は此暴騰せる貨物は止むを得ず不常なる代價を擲ふて營口商人の手より供給を受けざる可らざるのみならず今や遼河も結氷して舟揖の便を得る能はざるより若し當局より輜重輸送の便を許されざる以上は茲ょ設方なくも一噸一日十圓乃至十五圓の高價なる苦力車賃を擲ひ支那苦力の手を借り戰線各地に運搬せざる可からず

斯の如く不當なる代價を擲ふて漸く營口より買ひ出したる貨物には又不當なる運搬賃の加はり來りて原價以外の高價なるものとなり戰地に於ては不秘の評價ありて是れ以上に相當の利益を獲得せんとせば忽ち嚴重なる制裁監督を受くるを以て止むを得ず幾分の損耗を見るが如き場合ありても其物は損へざる可らず、加之も其代價の支拂ひを受くるには昨今兵士の直接購求に掛るものは補助銀貨を以てするも軍隊附主計よりの支拂ひは悉皆軍用手票を以てするより此手票は亦一割乃至二割の損失の下に帥頭平身銀貨との交換を爲さゞるべからず斯の如くなるを以て目下戰地にある商人の窮狀は識に察するょ餘りありと謂ふべき也

●馬山浦通信

（二十二日特置員發）

▲水產會社の設立　馬山の有志數名は拾五圓株二萬圓の資本にて水產會社設立の議あり而して近日協議會を開き纏まりたる上は直に發會式を擧る筈なりと

▲露領事館の修繕　昨年八月十九日の暴風雨の際災害を蒙りたる露領事館は此の程稅關より修繕を爲し漸く外部は舊觀に復せり

▲道路修繕の落成　昨年八月高潮襲來の折り破壞されたる道路橋梁の修繕は九千八百圓にて小田義四郎氏の請負處となり此の程落成せしを以て過る二十一馬山の官民を料理店望月樓に招聘して落成の祝莚を開きたり

▲御忌講話　淨土宗布教所は來る廿四日より全廿八日迄圓師法然上人の御忌會を修する筈にして夜中は彼宗にて有名なる一枚起請文の講話ある筈なりと

▲おぼろ會　馬山の俳人は月の浦會なるものを組織し毎週一回同人の家に於て運座を催し斯道の研究には非常熱心なり

▲土地賣買禁止　馬山鐵道助は馬山三浪津間の鐵道用地の賣買并耕作等を禁ぜり是れが爲め土地の所有者は種々の伺出を爲しつゝありと

▲牛の騰貴　昨今何事の爲歟二三の商人は牛の買集に競爭して買占めに盡すを以て從來安價にて卓上に上りし牛肉も非常に騰貴するに至れり

▲土地の測量　朝鮮政府は近日技師を派し各國居留地の未設賣地測量に着手する筈なり

▲罪人押送　過日昌原內城洞に於て金錢貸借上の事より殺人罪を犯せし伊藤某外二名は先便山陽丸にて仁川を經て長崎へ押送されたり

雜報

◎廷內紛落着　數日來宮中に動搖を來し韓皇も一旦は宮中に在るを安んぜず外部に投せざるべき模樣ありしと云へるが右は宮廷內の或者より目下上海に在る前館李學均の徒に向ひて日本の壓迫に堪へざる情態を通報し同地にはパウロフ公使も滯在し居るあと＼て日本の壓迫を防がんには各國公使の干涉を求むるに如かずと教唆し來りしを以て內官及び李容翊の一派は之が畫策運動を爲し且危辯を弄して韓皇の意を動かし又一面には今回の借款契約廢棄運動をも起すに至らしが去る十五日林公使謁見の際其眞相に就き奏上する所あり韓皇も漸く意を安んずるに至れり又李容翊は既電の如く警察使として地方に赴るあとゝなり右波瀾も此處に一段落を告げたり

●韓國土地賣買事情　釜山附近に於ける宅地或は田畑等の賣買に就ては家券なる者ありて賣主證人家僧等之れに署名し監理署の證明を求めて以て賣買を證せり然れども釜山以外に於ては家券なるものなく賣渡し證書に田宅持主保證人執筆者の華押と共に共用宅に付て由緒ある古文書あれば之を添附致て買主に交附するに過ぎず時として洞里の差配人の如きの之に連署する場合あり而して組稅徵收期に至り反別調べを爲し初めて買主の姓名を土地臺帳に記入するを以て其の所有權を移轉する者とす

土地賣買に就ては一斗時（韓語ハンマヂキ）何程として價格を定む此の一斗時なる者は面積の廣狹に基かず各地方の習慣に從て下稱すべき米或は麥等の量を見積りたるものよして一定の地價を示す能はず然人は其土地の肴價と狀況により一斗蒔一夫一日一犁の耕耘地積何程なるやを知るあと雖も他邦人にありては容易に察するあと能はざるを以て其都度實見せざれば判明せず京釜鐵道線路附近に於ては一斗時の賣買價格最低韓錢二貫文より最高廿五貫文（一貫文は目下の相場にて一圓七拾錢有餘）位迄にして假りに我一反歩に換算すれば其小作收入は最高二石に達すべし而して勞働者は一日三回の食事と酒煙草を給與し一日五十文の韓錢（我八錢五厘）を與ふれば足れり又稻刈きより刈取に至る農期中の定雇は酒食を給與したる上米二斗位の給與を爲すと云ふ

●京釜鐵道工事　增若隧道の増抗過般貫通したるを始めとし他の未貫通隧道も昨今悉く貫通し四月中旬迄には全線の隧道皆列車を通ずる迄に至るべく洛東江、錦江の橋梁本工事は寒候酷烈の爲着手稍後れたるも兩三日前に至り双方共に工事に着手したりウヱルの沈設其他の基礎工事に三箇月を要する也其他は試運に日數を要せざれば來る七月中には是非列車を通ずるに至るべしといふ

●馬山鐵道工事　馬山鐵道工事は其後大に捗どり軌條の敷設も略ぼ了りたるを以て目下三浪津附近の隧道并に洛東江橋梁の工事中なるが之も意外に進捗し最初六月頃ならでは竣成せざる筈なりしが今後異變なき限りは四月一杯若くは五月初旬には是も竣成すべく（京釜鐵道と連絡して列車の開通を見るも六月を待ざるべし

●燐寸製造業と韓國　當釜山に於ても燐寸製造會社を設立せんとする計畫者なきにあらざるが某當業者の談に仍れば右の希望は全く水泡に屬すべきものなり理由如何となれば燐寸製造業の如きは頗る熟練なる職工を使用するにならざれば到底經營倒れを免れず目下本邦內地に見ゆる全業の職工の如きは殆んど器機製造に於てさへ企及し難き良好の成蹟を示しつゝあり而して韓人の給料は安價なりとするは甚だ誤解にして頗る不利益なり然のみならず新たに韓人に此煩雜なる且つ機微を要すべき手職を熟練せしむるまでの日數と資金は用意の事はあらず且つ材料たるべき材木等も甚だ僅少なるに於てをや云々

●郵便物の速達　從來釜山より京城仁川方面に逓送すべき郵便物は草梁發二番列車にて逓付し來りたる處今回之を改正し本日より草梁一番列車に積載する事となりたる由右の爲め日本より到來すべき郵便物は八時間以上の速達を得る筈なりといふ

●草梁間道路開鑿　北濱より草梁に達すべき道路中岩石の爲めに交通を妨害する個所あり今日迄非常の不便を感じ居るに依り目下其筋に於て指揮し開鑿しつゝあり

●醸酒業組合起らん乎　當釜山港の酒商醸業家の組合は一致の行動を採るなく種々の事情より遂に解散の狀態を繼續したるが今回又々同組合の再擧を計るものあり目下運動中なりといへり

●音樂會開會の計畫　例年開會さるべき技藝音樂會は昨今當港の有志者間に於て開會さるゝ協議中にて目下順序等は既に計畫整りたるが琴、三味線、劍舞を初め拾餘の技藝音樂あり多分松井座に於て開會さるゝならんといふ

●製氷界　同業家石川勝治氏の談に依れば昨冬に於て氷桶二百個を製出し佐須土原に製氷家屋及び氷庫を建築し公立病院にいて檢査濟水と認めたる飲料水を以て製造に取掛りたるが今年は韓紛の所謂六十年來例なき温冬なりしを以て二萬貫餘製造の目的を遂する能はず北濱に於ける火災前夜と翌夜において結氷を觀たるものが最も佳良の製氷なりし仍りて同氏は日本より百噸（二萬七千貫目）を新たに仕入れて倉庫を滿したる次第なりと最も本邦にたける製氷も温暖の爲めに結氷を見る能はざる不幸に陷り目下例年なれば百目一厘の相場なるに早くも三厘の聲を聽く狀況なるを以て今後夏期に向ふに連て高騰するは勿論なるべし

●ラムネ製造　實業家石川勝治氏は今夏に於て一時間約二拾ダースを製出すべき該品製造の器械を買入れ專ら製造の任に當り大邱京城方面に販賣を求むる計畫中なり

●硝子賣行其模樣　目下硝子は營下等の販路は多き方にして同業者何れも愁眉を開きつゝあるも高價八何は一向活動なく個々會社用等に使用するも殆んど數ふるに足らずと云へり

●海岸出張所の繁忙　當港郵便局海岸出張所は郵便貯金、貨物取扱其他の局務に忙殺されつゝあり

●徵兵檢查官來釜　本年の徵兵適齡者身體檢查の爲め左の徵兵官は上記の日時を以て來釜大池旅館に投宿すべき旨通牒あり

廿五日着
軍　副官　陸軍步兵大尉　松江豊壽
陸軍二等軍醫　山口俊次郎
仝軍醫部員

廿六日着
檢查官助手　陸軍曹長　寺崎信
仝陸軍曹長　阿部文右衛門
一等看護長　野田仁四郎

●河合郵便局長　河合馬山郵便局長は事務打合として來釜中なり

●佐々木技師　大韓興農會技師佐々木氏は社用を帶び昨日出帆上京の途に就く

●中島水產副組合長　同氏は軍用罐詰の事に關し東京大本營糧秣廠と交涉の用を帶び過般上京されしが右の用件總結し門司迄歸港せられたる旨電報あり

●高橋校長來任　國井元校長の後任として招聘せられたる釜山高等尋常小學校長高橋怒氏は昨日の群山丸にて來任せられたり

●衛生組合書記撰任　昨日の撰擧會に於て左の二名を書記に選任せり
中野房太郎　奈良林平

（（斗南獨嘯））

▲大公　暗殺せられ露帝今更の如く狼敗し改革の鑿行を嚴明せりと死での後の醫者話

▲キシ　ネフ地方にて露の兵士三万の同盟罷工者を鏖殺せり僅で大勝利の號外飛ばし英紙曰く露は開戰以來初めての勝利と

▲モス　コー地方議會長露帝に書を奉る曰く露國は現に無政府にして革命の間にあり特に神聖なる皇帝の身邊に咒詛ありと

▲赤い　革命を防禦する人力の及ぶ所に非ず帝の神聖を保たんと欲せば只一、國民及代表者の信任を得るにありと濃乎秋霜劍

▲冬宮　に隱れし夏宮に走り今亦離宮に潜む堂々歐亞を跨る大皇帝陛下よ哀れ身を置に地なくば寧ろ日本に避難せられて如何

▲巴艦　隊旗艦以下の後非常の困難を犯し辛くセントルイス港に入るを得たりと天晴御手柄也此幸き勢で日本に來る積り乎

▲海外　居留民團法案下院委員會に於て可決本議亦異議なけむ先布るべき清國居留民の徒よ希くは光輝ある法令たらしめよ

▲全羅　道羅洲光州其他一帶の郡守皇帝の密勅と稱して軍用銃買入に着手す日本の指導を喜ばず義兵を擧ん爲とは痴絕の極

▲普州　方面の一進會員數千名大會と稱して亂暴狼藉至らざるなく官吏悉く解散を命せり何が何からトント珍紛漢の亡國騷

▲大邱　附近韓人間に花牌流行し一擲五六十圓の勝敗を賭は平と片端より土地賓物を賣却しての賭博流石に大國民かな

明治三十八年二月廿五日　朝鮮日報　(日刊)　(土曜日)　第參十號　(三)

朝鮮日報

●大商店訪問記（六）

●中村金物店（辨天町）

中村金物店稱に異る大商店也。金物と云ふ金物は亦内外漏なく排列せられ燦爛として目を奪ふ列に農具の如き順序よく陳列されあり客店内に入りて何んとなく愉快に感ぜられたり記者が訪問中客人の來る三々伍々中々繁忙のやふに見受けたり

●薩摩屋代理店（辨天町）

薩摩屋代理店を訪ふ若き店員あり、愛嬌の巧みなるに何んとなく心地快く語る煙草店も澤山増加しまして中々面白い事も無ですが刻丈は宜く捌ける方でございますヒーローですかいや是れは最う一個も賣つて居りません、左様一時は中々流行致したものですがね、イヤ何もお構へ致しませんでお様ナラ——

●十字屋（南濱通）

店主淺岡氏は元新聞記者なり記者の訪問に接し種々經濟界の近況について語らる渡韓以來茲に五年になりますす開業は昨年の秋でございます資金の足らぬと經驗が御座いませんので思ふ樣に行かんで困ります、支店の陶器の方は昨今取引が多い方です最も高價品は餘り向かん方ですが日常ものは相應に出來て居る樣です云々

●石川勝治商店（本町）

硝子、燐寸、煙草各種を商ふ石川商店を訪ふ主人座にあり慇懃に迎へらる、昨今硝子は高價なつて居ります是れ日本内地に負傷兵收容所或は避病院が續々建築さるゝ結果該品の不足を告ぐる爲めです、左樣運送に於ては損害は他品と比較して多い方です兎に角すあし粗造に取扱はれまして十枚に二枚位の破損はあります、最も日本なら破損硝子利用の方が幾何もあります即ち鏡や寫眞の額子や玩弄品やマツチ原料や其他各種に利用されます韓國では瓦斯燈に使用さるゝ位です云々、夫れよりも店主は製氷事業の經驗あり「マツチ」製造に關する事抔に就て語られ訪問約二時間に及びて去る

●大久保商店（草梁）

草梁停車場前大久保商店の商品は菓子を初め雜貨なり草梁も昨今に至りて豫想して居つた如く追て賑になつて參つたのは誠に喜ぶべき事で御座いますが何うしても此處に滯留する人といふては少なく素通一片の客でございますなら割合に商賣は御座いませんと云々、店主は沈着溫厚の人也

●韓國戰役勇士の遺族

故の日清戰役の當初韓國戰役に於て日清册事衝突の際自己の職責を全ふし松崎大尉と相前後して名譽の戰死を遂げたる喇叭卒白神源次郎氏此の勇敢なる行動について其後唱歌に歌はれ或は講談に演ぜられて今や其名は不朽のものとなりたり然るに其遺族は目下岡山縣淺口郡船穗村大字水江六十番地にありて貧困に世を送り父治郎吉は本年七十四歲、母さとは本年七十歲にして外に本年十四歲の孫女よしとあり[illegible]年三十圓を受け畑一反五畝歩を小作して世を果敢なく送り居れると云ふ世の仁人義士は此の老夫婦と一少女の爲めに同情を表し博愛社と今等の涙を濺ぐ可ならずや

●博愛社慈善音樂演藝會

孤兒救濟の費を募らんため過般來釜あらし大阪博愛社主林歌子女史の事柄に就ては既に詳細報ずる處ありしが今回當地の愛國婦人會員生尾さや子以下十六名發起となり來る三月一二兩日午後六時より當地幸座に於て音樂演藝會を開催し大方の志士仁人に同情を乞はんとの趣旨より左の印刷物を當地重なる有志者に配付して贊成を求めたり

世に同情を寄すべき不幸薄命のもの勘からざれど生れて棄られ辨へぬ身の父を亡ひ母に別れ悽まじき浮世の浪に舵をたえたる捨小舟の身の上より憫れなるものはあらざるべし斯る可憐なる人の子の生活をあらしめんとするは自然の人情にして世に孤兒院の起れるも助けて人並に生涯を送らしめんとするは乃ち此博愛慈善の心より起れるものなりまたび大坂なる博愛社は員當地に來り同社の慈善事業の一なる孤兒教育の費を募らんが爲めに慈善演藝會を催さんとの志ありそも同社は創立以來已に十數星霜其間收容せし兒童の數百名に上り已に業成り世に出でたるもの尠からず其の組織の完全にして業務の整頓せるは已に世上の定評ありて現に幾多の兒童は芸美なる溫かなるホームに成長しつゝあるなりされど今や軍國の事とて一般世人の慈善はまりて立ち行くべき此種の事業の之が爲め影響を受くるあど少からず戰爭に因りて名譽の戰死等を爲したる軍人の孤兒の入院するものありて却て其經費の增大を見るに至るは惡れかたき勢にしてさては吾等一同も其業なる事業に聊かの貢獻を捧げんものと茲に慈善演藝會を發起する事となりぬあはれ大方の諸君應援を妾等の微志に贊助の榮を賜はらんことを（下略）

●音樂演藝の順序は左の如し

△奏樂△オルガン「ソロー」△開會の辭△琴台奏△奏樂△琴、「三味」△合唱△ヴアイオリン△活人畫△唱歌△奏樂△幻燈△演說△挑撥ハープ獨奏△武術柔術擊劍△活人畫戰捷國少年天國△奏樂△橫笛△劍舞等にして役割は左の如し

「活人畫」伏見里　常盤…雨端夫人、今若…遠藤令孃、乙若…迫間令孃「唱歌附」「浮世」…華族令夫人（迫間夫人）仝令孃（齋藤令孃）乳母（豐田夫人）以下四名、「戰捷國少年」ボート乘組（生尾令孃、遠藤令孃、石出令孃、富金令孃、迫間令孃、迫間令兒、）自轉車（金子荻野子、平林綾子、）樂隊附

「大團」天使三人の（遠藤令孃、迫間令孃、金子荻野子、）戰死者の靈魂（木村夫人）ウアイオリン入

因に當日の會費は白券壹圓青券五十錢赤券二十錢にて申込所は幸町二丁目林比之助方なりと云ふ

●釜山商況

一般商勢に於いて不况の地豐穣の結果[illegible]無氣力[illegible]

△相場

米穀類　白米[illegible]七十錢△中米十圓六十錢△[illegible]
肥料物　油粕二圓[illegible]
皮類　牛皮三十九圓
燃料　塊炭四十四[illegible]
[illegible]

△魚市場